

新社長に聞く

・クリエイトの社長に4月1日付で竹田広光氏が就任した。日立ソリューションズグループの中核企業として日立製作所グループのシステム支援に加え、独自ソリューションの展開を進めてきた。「技術力と品質の向上、新技術の習得を進めるとともに、働いていて幸せを感じられる企業にしたい」と話す竹田新社長に戦略を聞いた。

日立ソリューションズ・クリエイト 竹田広光社長



【プロフィル】(たけだ・ひろみつ) 58年9月16日生まれ。60歳。愛知県出身。玉川大学工学部卒。82年4月日立ソフトウェアエンジニアリング(現日立ソリューションズ)入社。08年4月金融システム事業部金融ソリューション営業本部長。11年4月金融システム事業本部金融システム事業部副事業部長。14年4月執行役員。15年4月日立製作所情報・通信グループ金融システム事業部事業主管。17年4月日立ソリューションズ・クリエイト取締役執行役員第1事業本部長。17年10月取締役常務執行役員。19年4月代表取締役 取締役社長 社長執行役員(現職)。

・クリエイターの社長に4月1日付で竹田広光氏が就任した。日立ソリューションズグループの中核企業として日立製作所グループのシステム支援に加え、独自ソリューションの展開を進めてきた。

「技術力と品質の向上、新技術の習得を進めるとともに、働いていて幸せを感じられる企業にしたい」と話す竹田新社長に戦略を聞いた。

分野の支援により日立グループのシステム構築を下支える役割を担つている。同時にモバイルやセキュリティ、AI（人工知能）といった独自ソリューションの提案で顧客の裾野を広げてきていた。――19年の施策は、竹田社長 日立製作所グループの新中期経営計画「2021中期経営計画」の初年度になる。堅調なIT投資を追い風に案件数も増える中、今年度はプロジェクトの品質

人員配置を最適化

量らを評価する複線型人事制度を取り入れた。

（とが）った技術を持つ技術者がいるため、より付加価値の高いサービスを開発するとともに、当社で働いて良かった人もいる。こうした社員

質の向上が大きな課題になってきている。――19年の施策は、竹田社長 日立製作所グループの新中期経営計画「2021中期経営計

AIといったソリューションをさらに磨きながら、業種別SIで培ったノウハウを生かした新たなソリューションを出せるようにしていく。プロジェクト品質を高めるための策は、一見直し、マネジメントを見直し、各分野のプロジェクトの精査も進めている。今後はプロフェッショナルの強化も重要なテーマとなるため、18年4月から人事制度を最適化していくため、人材配置を最適化していく。また、人間の配置を最適化していくために、AIを活用するなど、技術的な取り組みも進めていく予定だ。

したモバイルスクエア・プラスの実績が金融機関をはじめ増えていくた
め、今後は横展開していく。セキュリティは、標的型サイバー攻撃への対
応などができるソリューションを用意。当社には、術者が顧客先に常駐して
竹田社長　当社は様々
なグループ会社が合併し
誕生した。社員数も3千
人を超えるが、多くの技
術者と協力して、より一
層の実績を積んでいき
たい。
——どのような会社を目指しますか。

—日立ソリューションズ・クリエイトという会社をどう見ますか。

竹田社長　日立製作所と連携した金融や社会・公共分野のシステム支援と、日立ソリューションズと連携した産業・流通

日立ソリューションズ・クリエイト 竹田広光社長

働きやすい環境づくり
に向けた取り組み

ワイトハツカ一の検定取
得なども進めていく。
ようにしたいと考えてい
る。

り る

一方で、この数年はよ
めの年にする。同時にモ
バイルやセキュリティ、
を高めていくための地図
も増えていく。半面、技術
者不足や人員不足が叫ば
れているため、着実に案
きたモバイル技術を生か
竹田社長 長年培つて

システムにAIを組み合わせることで課題解決する「A.I.プラス」を開発し、実証を進めている。既に具体的なサービスもできており、今後提案を加速する。同時にA.I.技術者への育成にも取り組ん

りに向け活動を進めてい るほか、若手社員が刺激 を受けてもらえるよう新しいことにチャレンジしてもらえるように働きかけている。様々なイベント開催やイベント参加などを進めていきたい。